



平成26年9月5日
相模原市発表資料

デング熱の国内感染症例について

市内において海外渡航歴がないデング熱患者の発生がありましたので、お知らせします。

1 患者について

(1) 概要

- ・相模原市南区在住20歳代男性。
- ・海外渡航歴なし。
- ・9月1日 発熱、発疹、筋肉痛、咽頭痛で発症。
- ・9月4日 医療機関受診。外来（通院）にて経過観察。
- ・9月5日 国立感染症研究所の検査にてデング熱の感染を確認。
- ・現在自宅療養中

(2) 患者行動

- ・調査の結果、蚊の刺咬歴は不明であるが、患者は8月23日に都立代々木公園に行っている。

(3) 相模原市の対応について

- ・市民への注意喚起を行います。
- ・医療機関に対して、デング熱の国内感染が疑われる事例においては、診断前であっても速やかに情報提供していただくよう周知しています。

【参考】デング熱について

(1) 概要

- ・蚊が媒介するウイルスによる疾患で、アジア、中南米、アフリカ等の世界の広範な地域で流行しています。
- ・ヒト（患者）－蚊－ヒトという経路で感染するため、ヒトからヒトに直接感染することはありません。

(2) 症状

- ・突然の発熱で発症し、頭痛、顔面紅潮、結膜充血を伴い、発熱は2～7日間持続します。
- ・初期症状に続き、全身の筋肉痛、関節痛、全身倦怠感を呈します。
- ・予後は比較的良好な感染症です。
- ・まれに重症化し、出血やショック症状を発症するデング出血熱や、デング熱候群に移行することがあります。

(3) 治療法

- ・特異的な治療法はなく、対症療法が主体となります。現在のところ、有効な抗ウイルス薬はありません。

(4) 予防法

国内では、ヒトスジシマカがデング熱を媒介する可能性があるため、蚊との接触を避け、刺されないようにすることが重要です。

(具体例)

*長袖、長ズボンを着用して肌の露出をなるべく避けるとともに、虫よけ剤等を使用して蚊を寄せ付けないようにしてください。

*屋外だけでなく、屋内においても蚊の駆除を心がけてください。

*住宅周辺に存在する幼虫発生源（バケツに溜まった雨水等）を無くすことも、個人が平時からできる対策の1つです。

【参考ホームページ】

厚生労働省 デング熱について

(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue_fever.html)

国立感染症研究所 デング熱とは

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/238-dengue-info.html>)

問合せ先 疾病対策課 感染症・難病対策班
電話 042-769-8260 (直通)